

「蓬萊の玉の枝」テスト練習問題と過去問まとめ④

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 (第6段落・1行目) 「くらもちの皇子が得意げにこう語っているところへ」とあるが、何を語っていたのか。本文から6文字で書き抜いて答えなさい。

問2 (第6段落・2行目) 「玉作りの匠たちが押しかけてくる」とあるが、どこへ押しかけてきたのか。本文から3文字で書き抜いて答えなさい。

問3 玉作りの匠たちは何に対して不満をもっているか。「…こと」と続くように、本文から書き抜いて答えなさい。

問4 (第6段落・6行目) 「皇子の策略」とあるが、「策略」の内容を説明している次の文の(ア)と(イ)に入る言葉を本文から抜きだして(ア)は6字、(イ)は2字でそれぞれ答えなさい。

玉作りの匠たちに(ア)を作らせて、かぐや姫と(イ)をすること。

【ア】

【イ】



問5（第8段落・14行目）「このように人々の心を奪うほど」とあるが、人々がかぐや姫に心を奪われている様子を説明している次の文の（ア）～（ウ）に入る言葉を本文から抜きだして（ア）は8字、（イ）は10字、（ウ）は2字でそれぞれ答えなさい。

（ア）たり、（イ）してまで、かぐや姫に（ウ）するほど心を奪われている

【ア】

【イ】

【ウ】

問6（第9段落・6行目）「見かねた翁が、訳を尋ねると」とあるが、何に対しての訳を尋ねたのか。「…こと」と続くように、本文から10字で書き抜いて答えなさい。

問7 かぐや姫が嘆き悲しんでいた理由として、もっとも適切なものを次のなかから選び○で囲みなさい。

ア：実は月の都の者であることを思い出し、月へ帰りたくなっている

イ：訳あって人間界へ来なくてはいけなかった運命に嘆いている

ウ：月へ帰る方法が分からずに困り悲しんでいる

エ：月へ帰るために、翁たちと別れなければならないことを悲しんでいる

問8（第10段落・13行目）「中秋の名月の夜」と同じ意味の言葉を本文から抜きだして答えなさい。



問9（第10段落・13行目）「帝は、二千人の兵士を遣わして翁の家を守るようお命じになった」とあるが、帝は何のために兵士を遣わしたのか。次の文章の（ア）と（イ）に当てはまる言葉を本文から抜きだして答えなさい。

（ア）から（イ）を守るため

【ア】

【イ】

問10からは、原文も参考にして答えなさい。

【原文】

御文、不死の薬の壺並べて、火をつけて
燃やすべきよし仰せたまふ。
ア
そのよしうけたまはりて、士どもあまた
具して山へ登りけるよりなむ、その山を
「ふじの山」とは名づけける。
イ
その煙、いまだ雲の中へ立ち上がるとぞ、
ウ
言ひ伝へたる。

問10 赤線【ア】～【ウ】の読み仮名を、それぞれ現代仮名遣いを使ってひらがなで答えなさい。

【ア】

【イ】

【ウ】



問11 青線の次の言葉【ア】～【ウ】を現代仮名遣いに直して、それぞれひらがなで書きなさい。

【ア】たまふ :

【イ】うけたまはりて :

【ウ】いひでんへたる :

問12 帝はなぜ不死の薬を燃やしてしまったのか。「…から」と続くように、本文から書き抜いて答えなさい。



「蓬萊の玉の枝」テスト練習問題と過去問まとめ④（解答）

問1 架空の冒険談

問2 翁の家

問3 千日余りも働かされながら、まだほうびがもらえない（こと）

【解説】「どうにかしていただきたい」という部分は、不満であることではないので、ここではいらない。

問4 【ア】にせの玉の枝

【イ】結婚

問5 【ア】大金を使い果たし

【イ】危険を冒して大けがを

【ウ】求婚

【解説】ウは、「かぐや姫に」に続く言葉なので、「結婚」ではなく「求婚」となる。

問6 月を見ては嘆き悲しむ（こと）

問7 エ

【解説】秋になってその嘆きがいっそう大きくなるということは、月へ帰る日が近づくにつれて、かぐや姫の嘆きが大きくなっているということ。ということは、ア・イ・ウの場合は月へ帰る日が近づくほど嘆きは小さくなるはずである。



問8 八月十五夜

【解説】八月の十五日の夜に見える月を中秋の名月と呼ぶ。また、かぐや姫が「八月十五夜に帰らなければならない」と言っていて、実際に帰った日が「中秋の名月の夜」だったことからも、二つが同じ意味を持っているということが分かる。

問9 【ア】月の都の人々

【イ】かぐや姫

問10 【ア】おんふみ

【イ】つわもの

【ウ】けぶり

問11 【ア】たまう

【イ】うけたまわりて

【ウ】いいつたえたる

問12 かぐや姫のいないこの世にいつまでもとどまる気がしない（から）

※当テストでは、著作権侵害を避けるために本文の掲載を控えています。

問題・解答の内容が本文のどこにあるのかを示すために、段落と

教科書に掲載されているページ上の行数を表記しています。

